

★ イギリス出身の達腕の人気ジャズ・ギタリスト ★ リー・ジョーンズ【Lee Jones】



あのラリー・コリエルからも“優れた作曲家で達腕のギタリスト”と称賛され、母国イギリスを拠点に活動し、これまで5枚のアルバムを発表してきたリー・ジョーンズ。本誌でも新作を紹介して来たが、作品毎にジャズ・ギターの魅了と個性的で素晴らしい楽曲を披露してくれている。今年4月に日本ツアーが予定されていたが、新型コロナウイルスの影響で延期になってしまったが、このクリスマスにコロナ禍への思いを込めた6枚目となる最新ソロ・アルバムをリリースする。まだ終息の見えないイギリスの現状や自身の音楽活動、ギターとの出会いや日本への思いも熱く語ってくれた。永遠のギター少年のような迷るギター愛を感じて欲しい。

【2020年11月取材・文：加瀬正之】

★ 現在のイギリスでの新型コロナウイルスの影響や最近の音楽活動はいかがですか？

イギリスも他国と同様に、新型コロナウイルスに苦しめられていて、その影響は僕自身も含めて多くのミュージシャンも実感しているよ。僕は大半の時間をオックスフォードでギターのオンラインレッスンや電子書籍を書く仕事に専念している。それでもこの夏に少なからずパフォーマンスとレコーディングに携われたことは楽しかったよ。

★ この秋、日本のブリッジコーポレーションでオリジナルギターピックをオーダーされましたが、ピックはいかがですか？

素晴らしいピックだね。弾き心地が良く、今まで使っていたピックより多少形状が異なっていて、的確に弦を弾くことができると思うよ。あと、見た目も最高だね。(※P19写真参照)

★ クリスマス前に最新ソロ・アルバム『A・ニュー・スタンダード』をリリースされますが、この作品について聞かせて下さい。

『A・ニュー・スタンダード』はスタンダード、ブルースとオリジナルの楽曲をアレンジした自作のジャズ・ソロ・アルバムなんだ。「ブルース・フォー・ジャパン」は2020年4月に計画していた日本ツアーをもとにした楽曲なんだけど、新型コロナウイルスの影響で延期になってしまったんだ。僕にとって『A・ニュー・スタンダード』はコロナ禍にいかにか計画的に楽しく人生を生きていくか描いた曲なんだ。

★ 昨年リリースした『ナイト・トレイン』も素晴らしい作品で、「KotoFuzz (コトファズ)」という日本の伝統楽器琴に影響された曲も披露していますが、日本の音楽や日本人アーティストはよくチェックしているのですか？

もちろん、日本にいる素晴らしいギタリストたちには関心を持っているよ。あとジョン・ゾーンのレコード会社ツァディック・レコードは日本から幾つか興味深い作品をリリースしているよね。上原ひろみも大好きだよ！

★ 日本のイメージについて聞かせて下さい。

日本人には親切さや暖かさ、感謝の気持ちのようなものを感じるね。あと、みんなとても礼儀正しいかな。今後、日本と親密な関係を築きたいと思っているんだ。それに桜や寿司も体験してみたいしね！

★ 子供の頃はどんな音楽を聴いていたのですか？ また、憧れていたミュージシャンは誰ですか？

僕はB.B. キング、エリック・クラプトンやカルロス・サンタナみたいなブルースとロック・ギタリストが好きかな。ジャズと出会う前はこのスタイルで演奏していたから、今でもジャズ・ギタリスト仲間と様々なスタイルを駆使して共演しているよ。でも、大体ビバップに影響されてる人が多いかな。

★ ギターを弾き始めたのはいつ頃ですか？ また、ギターを手にした経緯やギターを弾く前に手にした楽器について聞かせて下さい。

ギターを始めたのは父親の影響が最初だった。僕が子供の頃、いつもヤマハのギターを家の中で弾いていたんだ(ちなみにそのギターはまだ持ってるよ)。8歳の時にギターの練習を始めて、1997年に僕のメンターで友人でもあるサイモン・ティットリーと出会ったんだ。彼は僕にロンドンでフィル・リーのもとでジャズを学ぼう提案してくれたんだ。フィルは1960年代からロンドンのジャズ・シーンにおける重要なギタリスト

で、彼が様々なプロジェクトで使ったギターについて色々話してくれて、幾つかの素晴らしいアドバイスもくれたんだ。その後、僕はバーミンガム音楽院にジャズを学びに行ったんだよ。ギターが常に僕の最初の楽器でメインの楽器だね。少しキーボードも弾くんだけだね。

★ ギターを弾き始めた頃にお気に入りだったギタリストは誰ですか？

ジョージ・ベンソン、ラリー・カールトンやバーニー・ケッセルのようなブルースに影響を受けたジャズ・ギタリストが特に好きだったね。

★ あなたの特別なギター・サウンドやスタイルはどのように身に付けたのですか？

そうだね、ピックも使うけど、独自の音を作り出すために親指や爪でも弾くよ。様々なテクニックを駆使するのが好きなんだ。フェンダーのブルース・ジュニア・アンプを使って、アイバニーズのセミソリッドギターを弾くと、とても鮮明な音色が出るんだ。

★ イギリスのジャズ・シーンについて聞かせて下さい。

イギリスは幅広くジャズが浸透していて、様々な地域の音楽やコンサートを体験できるんだ。歴史上イギリスはフリー・ジャズや即興演奏も深く根付いているんだよ。

★ 音楽以外に特別な趣味はありますか？

僕の彼女はイラン出身だから、ペルシア語を勉強している。ウォーキングとランニングも好きかな。イギリスは森や緑が多いからアウトドアアクティビティにはもってこいなんだ。あとアートとワインも好きだよ。

★ 愛用のギターと弦について聞かせて下さい。

1979年の日本製のアイバニーズ 2630のギターを2本持っている。僕のメインギターは叔父さんが1980年にバーミンガムで買ったものを11歳の誕生日の時に貰ったんだ。それからずっとこのギターを愛用している。弦に関しては、今はフラットワウンドのダダリオ 10-48 クロームを使っていて、とても気



に入っているよ。

★ 2021年に日本も含めたツアーの予定はありますか？

そう願ってるよ！ 新型コロナウイルスの状況にもよるけど、できるだけ早く来日したいと思っている。

★ あなたの夢や目標は何ですか？

夢はジャズ・ギタリストのキャリアを積むことと、音楽研究者として世界中の音楽を研究していくことかな。あと2021年後半に『ナイト・トレイン・パートII』をリリースすることだね。

★ あなたの人生にとってギターとは？

ギターを弾くことと作曲は僕の人生の目標とミッションだね。僕自身を表現する方法でもあって、僕のハートと魂そのものなんだ。

★ 最後に The Walker's 読者と日本のファンにメッセージをお願いします。

The Walker's で僕のことを取り上げてくれてありがとう。僕のことをずっとサポートしてくれて感謝しているよ。健康には気をつけて。あと、将来日本に行って素晴らしい音楽を共有できることを楽しみにしているよ。ありがとうございます！



ブリッジコーポレーションのオリジナルギターピックにご満悦
<https://bridge-co.com>

【リー・ジョーンズ オフィシャルウェブサイト】
<https://www.leejones-guitarist.com>

ア・ニュー・スタンダード
リー・ジョーンズ

LEE JONES
A NEW STANDARD

© Lee Jones

2020年12月発売予定
の最新ソロ・アルバム

【※ P11でも紹介！】